

アカゲラ通信



レストハウスオープン！

旭山記念公園レストハウス「森のアリス」は6月1日に今年度の営業を始めました。
今年も毎月ひとつずつメニュー紹介、今月は「炭焼チキン」(5個1串350円)。
柔らかいチキンは風味抜群。「とりのから揚げ」もあります(同)。
テイクアウトのみ。ご来店お待ちしております！



2020年5月 旭山の野鳥の動き

新型コロナウィルス感染拡大防止対策のため、残念ながら、
今年の5月は野鳥観察会を行うことができませんでした。

今回は、そんな2020年5月の野鳥の動きをまとめてみました。

■夏鳥・旅鳥 旭山における初認日一覧 (到来の早い順)

通過だけのものも含まれています。来年春の野鳥観察のご参考に。

- ◎ホオジロ:3月22日 ◎キジバト:3月28日 ◎ヤマシギ:3月29日
- ◎モズ:4月1日 ◎ウグイス:4月7日 ◎キセキレイ:4月7日 ◎トラツグミ:4月9日
- ◎ベニマシコ:4月10日 ◎ルリビタキ:4月17日 ◎アオジ:4月18日 ◎カシラダカ:4月20日
- ◎メジロ:4月21日 ◎クロツグミ:4月24日 ◎シロハラ:4月25日 ◎ヤブサメ:4月26日
- ◎アカハラ:4月27日 ◎オオルリ:4月28日 ◎コマドリ:4月29日 ◎マミチャジナイ:4月30日
- ◎コルリ:5月1日 ◎センダイムシクイ:5月1日 ◎ツツドリ:5月1日 ◎エゾムシクイ:5月3日
- ◎ノゴマ:5月3日 ◎ビンズイ:5月3日 ◎イカル:5月4日 ◎キビタキ:5月4日 ◎コサメビタキ:5月5日
- ◎アオバト:5月5日 ◎ムギマキ:5月13日(第2陣、数日滞在、4月下旬初認) ◎オオムシクイ:5月23日



■2020年5月 旭山野鳥トピックス

●ウグイス増えた？

ウグイス(写真左)は昨年までの数年間は以前より数が減ったと感じていましたが、今年は園内でも5、6か所で囀りが聞かれており、100m離れていない場所で2羽が同時に鳴いていました。



●マヒワ長期滞在

マヒワは旭山では秋から春に見られる鳥で、例年5月上旬にはいなくなりますが、今年は5月28日まで数羽が残っていました。

●ノゴマ、クロジ

どちらも旭山では例年1、2日見られるだけですが、今年は、ノゴマは1週間、クロジは10日ほどいました。

●ルリビタキ今年も当たり年だったか

昨年は4月下旬に10分歩くと必ず見られたルリビタキ(写真上)。今年も4月下旬、園内数か所で、15分待っていると必ず出てくるくらいよく観察されました。

●ツツドリ赤色型

ツツドリに時々現れる「赤色型」が今年は旭山で観察されました。秋まで見られる可能性があります。ツツドリは森の家近くのカラマツでよく鳴いています。

●高原モズ

モズは本来胸から腹にかけて茶色ですが、それが白くなつたいわゆる「高原モズ」雄の個体が旭山に現れました。5月下旬には巣立ち幼鳥に母鳥とともに餌をあげる様子も観察されました。まだ見られています。



●コガラ繁殖か？

(ハシブトガラではなく)コガラ(写真右、つがい)は、旭山では冬に時々見られるだけですが、今年はつがいが5月中旬に観察されました。その後の追えていませんが、旭山で繁殖した可能性もあり動向に注目しています。

●オオタカ今年は現れず

昨年春、園内のトドマツに巣を作っていたオオタカ。その後別の場所に営巣したようですが、今年は春先からその辺りにはまったく現れませんでした。通常の捕食や上空通過ではしばしば観察されています。

旭山野鳥メモ 16アカハラ

アカハラ Brown-headed Thrush *Turdus chrysolaus* スズメ目ヒタキ科
夏鳥。雌雄とも脇腹が赤というか橙色。雄は頭が茶色で目の周りが濃い。
雌は頭の茶色が薄く喉が白く、顔に細くて白い眉線がある個体もいる。

4月下旬に南から渡来、旭山でも5月中旬までは囀りがよく聞かれ、姿を見ることが少なくない。しかし、なぜか旭山では6月以降ほとんど見ることがなくなる。今から40年近く前は、夏の間も園内で普通に見られていたが、いつからそうになったのか。藻岩山では夏の間も見られるだけに不思議。



道内ではどこかの山林に行っても多い鳥で、旭山に慣れていると、アカハラってこんなに多いんだと知る。囀りは高い木で「キヨロッキヨロッツイ」と礼節正しく3音節を繰り返す(たまに1音節増えることはある)。近い仲間のクロツグミがまるでアドリブのように節を変えながら歌うのとは対照的、この声が識別の決め手。普段は笛聲で「キヨロキヨロ」と鳴くが、これもクロツグミに似ている。

10月になる頃には、アカハラとクロツグミが数十羽集まって一緒に見られることがある。

南に渡る準備だろうが、夏鳥ツグミ類の群れは、秋が本格化したことを感じる音であり光景である。

夏は早朝によく囀りする。夏にいつもよりうんと早く目覚めると、アカハラが気持ちよい声で迎えてくれる。

栗の木デッキ近くのポプラの大木が倒れた

5月下旬のある日、栗の木デッキに立って沢を眺めると…

ん？ なんだか景色が違う、前より明るい…

デッキから見て左側の沢に立っていたポプラの大木が沢に倒れていきました。

正面のオノエヤナギの木も、折れたポプラが当たったようで、幹と枝が折れてさく立っていました。

思い起こせば5月下旬、風が強い日がありましたが、台風ほど風は強くなかった。

しかし、ポプラはそれくらいの風でも倒れたのでしょう。

旭山のポプラは100歳近いと思われ、背が高く風の影響を受けやすい。

実際、台風や大風のたびに園内のポプラが1本倒れていますが、今回は園路をふさがずに谷に倒れたので、そのままになっています。栗の木デッキから見えます。

赤丸が谷底に倒れているポプラ、黄丸は折れたオノエヤナギの枝先→



旭山生き物ミニ図鑑 2020年6月



角が抜け落ちたエゾシカ雄



クマゲラ雌



シマヘビ



ミヤマオオハナムグリ



サカハチチョウ春型



コンロンソウ



オオダイコンソウ



ツリバナ



公式サイト

「アカゲラ通信」 第79号 2020(令和2)年6月7日発行

発行：(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話011-200-0311 (土・日・祝日 10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>